ヨド物置 エルモ
組立説明書　2211型・2211H型・2215型・2215H型

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。

設置場所の制限

⚠注意

- ●建物の屋上には設置しないでください。
- ●バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- ●大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には、設置しないでください。
- ●崖のふち・風当たりの強い場所等安全の確認のできない場所には、設置しないでください。
- ●給湯器の前には設置しないでください。

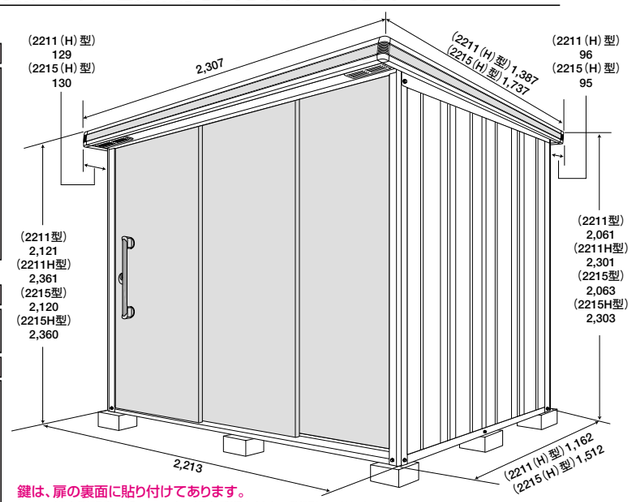
組立施工の際には

⚠注意

- ●アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。

お願い

- ●組立の際には手袋を着用してください。
- ●風の強い日・雨の日は、組立作業をさけてください。
- ●高い足場が必要なときは、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
- ●組立後、各部のボルト・金具の忘れやゆるみがないか確認してください。



鍵は、扉の裏面に貼り付けてあります。

※この組立説明書は「2215」の組立手順を基本に説明しております。

組立に使用するボルトについて

エルモ アンプレッセeは、組立に使用するボルトの色が2種類あります。部材の色に合わせてボルトを使い分けてください。

〈施工にあたって〉

1. まず、御注文通りの商品かどうかを確認してください。
2. 基礎ブロックは市販のコンクリートブロックを御使用ください。
   ブロックの大きさは巾19cm×長さ19cm×厚さ10cmのものが適当です。
3. 部材の共通化のために、実際には使用しない孔のあいている部材がありますので、説明書に従って組立ててしてください。
4. 部材は、すべて、鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。（安全のため必ず手袋を着用してください。）
5. 部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
6. 部材の組立ては、ボルトの孔を合わせて組立てください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

梱包組合せ表

機種 / 梱包	部品	前後材	左右材	柱	鼻隠し・補強 一般型	鼻隠し・補強 積雪型	床	屋根	壁	袖壁	扉	棚板	計
2211型	LM3-0142	LM3-0204	LM3-0302	LM3-0401	LM3-1142	LM3-1146	6-075	LM3-0995	LM3-1015	LM3-1022	–	LM3-1704	LM3-1903	11(11)
2211H型	LM3-0142	LM3-0204	LM3-0352	LM3-0451	LM3-1142	LM3-1146	6-075	LM3-0995	LM3-1065	LM3-1072	LM3-1051	LM3-1754	LM3-1903	12(12)
2215型	LM3-0142	LM3-0204	LM3-0303	LM3-0401	LM3-1142	LM3-1146	6-076	LM3-0996	LM3-1013	LM3-1014	–	LM3-1704	LM3-1903	11(11)
2215H型	LM3-0142	LM3-0204	LM3-0353	LM3-0451	LM3-1142	LM3-1146	6-076	LM3-0996	LM3-1063	LM3-1064	LM3-1051	LM3-1754	LM3-1903	12(12)

※合計のカッコ内の数は、積雪型の梱包数を表しています。

梱包内容表

●部品

LM3-0142(2211(H)・2215(H)) 部材名	数量
ELC AS下枠接続金具 前 右	1
ELC AS下枠接続金具 前 左	1
後 統 金 具 後	2
ELC 棚 受 N 右	4
ELC 棚 受 N 左	4
ELC棚受け押え取付金具	4
ELC Tレール取付金具	6
間 柱 金 具 ⑤	2
屋 根 止 結 金 具	14
ELC 間柱固定金具	2
アプセット六角ほとセルスボルト M6×16	5
工 具 キ ッ ト 0 4	1
E L C 連 動 車	1
ELC戸当り孔フサギ	1
E L 鍵 孔 フ サ ギ	1
壁パネル止結金具	46
E L C 柱 補 強 金 具	1
戸車上昇防止プレートAS	3
E L C 扉 支 持 金 具	1
ELC扉支持金具受け	1
薄バンドホネジM4×10	3
打込みアンカー(L=324)	4
アンカープレートL	4
E L C 取 手	1
W16セムスボルト エルモ M6×16G(ベージュ)	149
W16セムスボルト エルモアンプレッセe M6×16G(ウッディブラウン)のみ	93
W16セムスボルト コバフリセ M6×16G(ウッディブラウン)のみ	58
フランジナットM6	6
組立説明書(LMC-2211他)	1
取扱説明書(EL-06)	1
組立チェックシート	1
保 証 書 (二 年)	1
機種名ラベル(LM30412)	1
ソフトテープL=2200	2

●前後材

LM3-0204(2211(H)・2215(H)) 部材名	数量
ELC下枠前 AS-A3.0	1
下 枠 A 3 (94)	1
ELC上枠前 AS-A3.0	1
ELC 上枠後 A3.0	1
ELC 床押え後 A3.0	1
ELC下レールAS-A3.0	1
ELC扉後開閉ロ AS-A	1
ELC扉支持材 AS-A	1

●左右材

LM3-0302(2211) 部材名	数量 左右各1
ELC下枠側 A1.5右,左	
ELC上枠左 A1.5	1
ELC上枠右 A1.5	1
ELC間柱 側中1.5L	2

LM3-0303(2215) 部材名	数量
下枠側 A2 (94)	2
ELC上枠左 A2.0	1
ELC上枠右 A2.0	1
ELC間柱 側中2.0・4.0L	2

LM3-0352(2211H) 部材名	数量 左右各1
ELC下枠側 A1.5右,左	
ELC上枠左 A1.5	1
ELC上枠右 A1.5	1
ELC間柱 側中1.5H	1

LM3-0353(2215H) 部材名	数量
下枠側 A2 (94)	2
ELC上枠左 A2.0	1
ELC上枠右 A2.0	1
ELC間柱 側中2.0・4.0H	2

●柱

LM3-0401(2211・2215) 部材名	数量
E L C 柱 前 A S - 右 L	1
E L C 柱 前 A S - 左 L	1
E L C 柱 後 L	2
E L C 間 柱 前 L	1
E L C 間 柱 後 L	2
E L C戸当り(M)L	1

LM3-0451(2211H・2215H) 部材名	数量
E L C 柱 前 A S - 右 H	1
E L C 柱 前 A S - 左 H	1
E L C 柱 後 H	2
E L C 間 柱 前 H	1
E L C 間 柱 後 H	2
E L C戸当り(M)H	1

●鼻隠し・補強

LM3-1142(2211(H)・2215(H)) 部材名	数量
ELC鼻隠し前 A3.0	1
ELC鼻隠し後 A3.0	1
E L C 換 気 桝	2
ELCはりBCF A3.0	1
床 補 強 A 3	1

LM3-1146(2211(H)・2215(H)) 部材名	数量
ELC鼻隠し前 A3.0	1
ELC鼻隠し後 A3.0	1
E L C 換 気 桝	2
ELCはりBCF A3.0S	1
床 補 強 A 3	1

●床

6-075(2211(H)) 部材名	数量
床 板 ・ B 2	6

6-076(2215(H)) 部材名	数量
床 板 ・ A 2	6

●屋根

LM3-0995(2211(H)) 部材名	数量
ELC 屋根板 大 A1.5	1
ELC 屋根板 小 A1.5	5

LM3-0996(2215(H)) 部材名	数量
ELC 屋根板 大 A2.0	1
ELC 屋根板 小 A2.0	5

●壁

LM3-1013(2215) 部材名	数量
E L C 壁 ・ L - A	3

LM3-1014(2215) 部材名	数量
E L C 壁 ・ L - A	4

LM3-1015(2211) 部材名	数量
E L C 壁 ・ L - A	5

LM3-1022(2211) 部材名	数量
E L C 壁 ・ L - F	2

LM3-1063(2215H) 部材名	数量
E L C 壁 ・ H - A	3

LM3-1064(2215H) 部材名	数量
E L C 壁 ・ H - A	4

LM3-1065(2211H) 部材名	数量
E L C 壁 ・ H - A	5

LM3-1072(2211H) 部材名	数量
E L C 壁 ・ H - F	2

●袖壁

LM3-1051(2211H・2215H) 部材名	数量
E L C 袖 壁 ・ H - A	1

●扉

LM3-1704(2211・2215) 部材名	数量
E L C 扉 前 L - A	1
E L C 扉 後 L - A	1
E L C 戸 当 り (T) L	1
E L C 補 強 L - A	1
EL戸車プレート ASA (左)	1
EL戸車プレート ASA (右)	1
扉 施 工 説 明 書	1

LM3-1754(2211H・2215H) 部材名	数量
E L C 扉 前 H - A	1
E L C 扉 後 H - A	1
E L C 戸 当 り (T) H	1
EL戸車プレート ASA (左)	1
EL戸車プレート ASA (右)	1
扉 施 工 説 明 書	1

●棚

LM3-1903(2211(H)・2215H)) 部材名	数量
ELC 棚 板 A2.0N	2

○部材名称にはA1.5、A2.0、A2.5等の記号がついた部材がありますが、これらは部材の長さの記号であり説明書文中では省略しております。

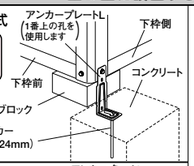
○外部用ボルトの色　エルモ…ベージュ色　エルモ アンプレッセe…ウッディブラウン色

アンカー工事は設置場所によって図のような方法があります。
強風による転倒防止のため、必ず行ってください。

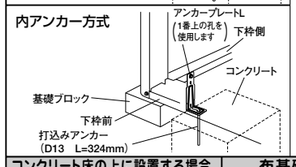
土の上に設置する場合

外アンカー方式

本文ではこの方式を基本として説明しております。



内アンカー方式

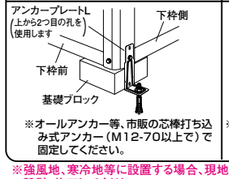


打ち込みアンカーをアンカープレートLの孔に通し、周囲にタテ、ヨコ各々30cm（Hタイプは40cm）、深さ40cmの穴を掘り、コンクリートを打ち込んで固定します。（4ヶ所）打ち込みアンカーの頭は、物置本体に向けてください。

※コンクリートは市販品を用意してください。

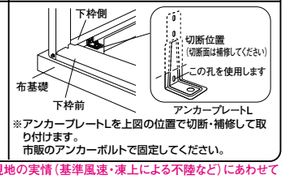
※高さ15cm以上のブロックを使用する場合は、アンカープレートLまで根巻きを行ってください。

コンクリート床の上に設置する場合



※オールアンカー等、市販の芯棒打ち込み式アンカー（M12-70以上で）で固定してください。

布基礎の上に設置する場合

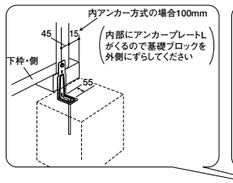


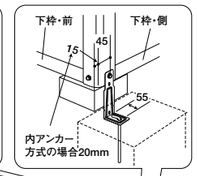
※アンカープレートLを上図の位置で切断・補修して取り付けます。
市販のアンカーボルトで固定してください。

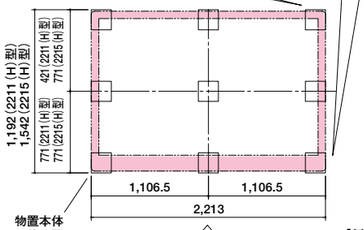
※強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の実情（基準風速・凍上による不陸など）にあわせて設計・施工してください。

1 基礎寸法について

①基礎ブロックを図の寸法に並べます。【基礎寸法図】
（数字はmm）
◎物置本体と基礎ブロックの関係は、図の通りです。
◎前後の屋根の出寸法は左の姿図を参照してください。
左右は本体から47mm出ます。



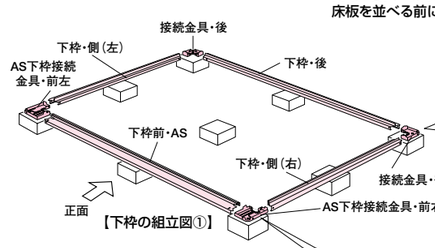




【基礎寸法図】

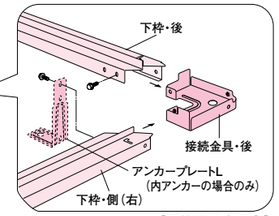
2 下枠の組立

①基礎ブロックの上に図のように部材を並べます。【下枠の組立図①】



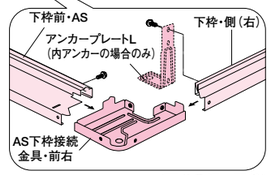
【下枠の組立図①】

②**接続金具・後**に**下枠・側（左右）**および**下枠・後**を差込み、ボルトで固定します。（2215(H)型の下枠側は左右共通です）
【下枠の組立図②】
※内アンカーで施工する場合は、同時に**アンカープレートLを下枠・側（左右）**に取付けます。
床板を並べる前に取付けてください。



【下枠の組立図②】

③**AS下枠接続金具・前右**に**下枠前・AS**および**下枠・側（右）**を差込み、ボルトで固定します。左側も同様にして組立てます。
【下枠の組立図③】
※内アンカーで施工する場合は、同時に**アンカープレートLを下枠・側（左右）**に取付けます。
※下枠接続金具に記載している位置まで下枠側を差し込んでください。



【下枠の組立図③】

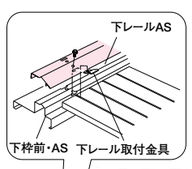
④**水準器**を使って基礎の水平を出してください。
※基礎の水平が出ていないと扉がスムーズに開閉しない場合や、鍵がかかりにくくなる場合があります。

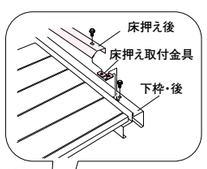
3 柱の組立

①**柱前・AS左右**の下端を下枠の切り欠き孔に差し込みボルト止めします。同時にアンカープレートLを本体側面に取付けます。柱・後も同様にして立てます。【柱の組立図①】

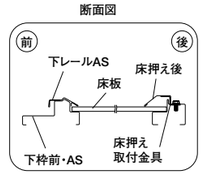
【柱の組立図①】

③**下レールASと床押え後**を取付けます。**下レールAS**は**床板**と**下枠前・AS**の上に載せ、**庫内側のみ**を**下レール取付金具**で取付けます。
【床板の取付図③-1】【床板の取付図③-2】【床板の取付図③-4】
床押え後は**床押え取付金具**を下枠に取付け、床押え後を金具にかぶせ固定します。
【床板の取付図③-3】
下レールの正面側はすべてここでは固定しません。工程9で固定します。





【床板の取付図③-2】　【床板の取付図③-3】



【床板の取付図③-1】

【床板の取付図③-4】

4 上枠の組立

①**ソフトテープ**を**上枠前・AS**および**上枠・後**に貼付けます。（ソフトテープを貼る位置は、機種により異なりますので間違わないようにしてください。）【上枠の組立図①】
②**上枠前・ASを柱前・AS**のツメにかぶせて、ボルトで取付けます。【上枠の組立図②-1】【上枠の組立図②-2】
上枠・後のツメを柱・後に引っかけ、ボルト・ナットで取付けます。【上枠の組立図②-3】
③**上枠・右、上枠・左**も同様に取付けます。【上枠の組立図③】

【上枠の組立図①】

上枠と柱のリブとはすき間なく合わせて固定してください。

【上枠の組立図②-1】　【上枠の組立図③】

【上枠の組立図②-2】　【上枠の組立図②-3】

5 床板の取付け

①**床補強**を**下枠・側**の切込みに落し込みます。
【床板の取付図①】

【床板の取付図①】

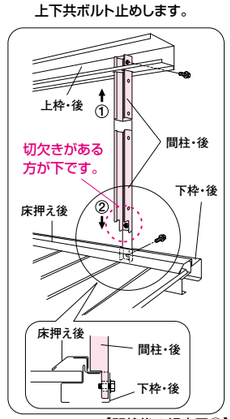
②**床板**を一方の端（どちらからでもかまいません）から順に並べます。【床板の取付図②-1】
重ね部分を【床板の取付図②-2】のようにミゾにはめ込み並べます。

【床板の取付図②-1】

【床板の取付図②-2】

6 間柱後の組立

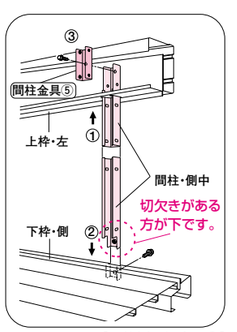
①**間柱・後**の上端を**上枠・後**に、差し込みます。
【間柱後の組立図①】
②下端を**下枠・後**に差し込んで上下共ボルト止めします。



【間柱後の組立図①】

7 間柱側の組立

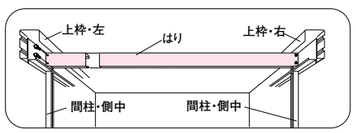
①**間柱・側中**の上端を**上枠・左**（および**上枠・右**）に、差し込みます。
【間柱側の組立図①】
②下端を**下枠・側（左右）**に差し込みボルト止めします。
③上端に**間柱金具⑤**をはめこみ、中央の孔で内側からボルト止めします。



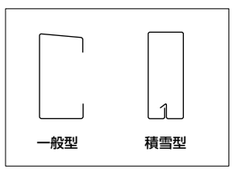
【間柱側の組立図①】

8 はりの組立

①**はり**を両側の**間柱・側中**の上にのせてボルトで止めます。
【はりの組立図①】



【はりの組立図①】

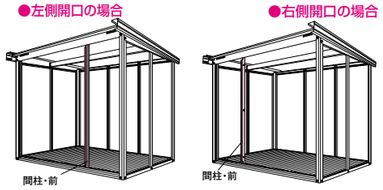


はり断面図

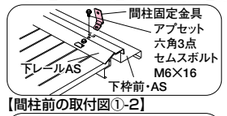
9 間柱前の取付け

間柱前の取付け位置は、開口位置により異ります

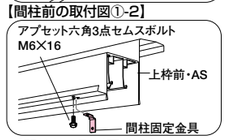
●左側開口の場合　●右側開口の場合



①**上枠前・AS、下レール・AS**（工程⑤で固定しなかった箇所）に**間柱固定金具**と**下レール取付金具**をボルト止めします。
【間柱前の取付図①-1】【間柱前の取付図①-2】

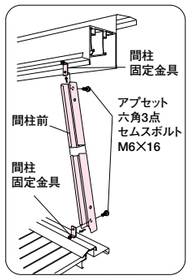


【間柱前の取付図①-2】

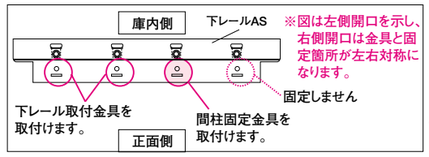


【間柱前の取付図①-1】

②**間柱前**の上側を先に入れ、次に下側を入れて両端をボルト止めします。【間柱前の取付図②】

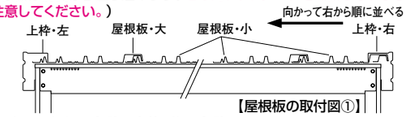


【間柱前の取付図②】



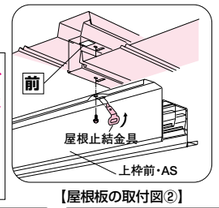
10 屋根板の取付け

①**屋根板**は、物置に向かって右端から**屋根板・小**を順に取付けて行き、（1枚目～5枚目）左端に**屋根板・大**（6枚目のみ）を取付けます。
この時**前**のマークの入っている方を前にします。【屋根板の取付図①】
（屋根板は前側から差し込みます。この時ソフトテープを破損しないように注意してください。）

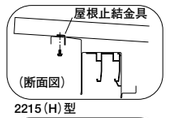


【屋根板の取付図①】

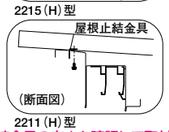
②隣同志の屋根板の**角孔**と**上枠・後の角孔**に屋根止結金具を通しボルトで仮止めします。
上枠前・ASも同様に仮止めします。
【屋根板の取付図②】
※屋根止結金具は、上枠・後から先に取付けます。屋根を全て取付けた後、締めこみます。



【屋根板の取付図②】



2215（H）型



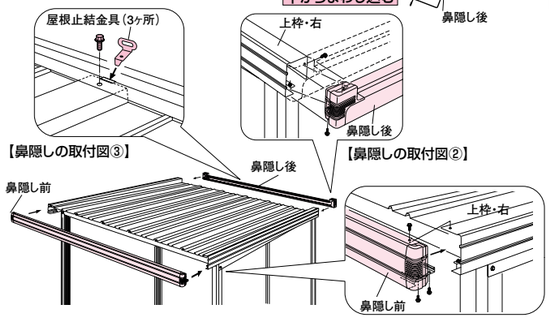
2211（H）型

屋根止結金具の向きを確認して取付けてください。
2215（H）型と2211（H）型とでは屋根勾配が変わるため屋根止結金具の向きも変わります。

11 鼻隠しの取付け

※オプショントイを取付ける場合は、「オプショントイセット」組立説明書を先にお読みください。

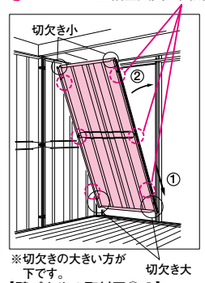
①**鼻隠し前**の両端を**上枠・右、上枠・左**に差し込み、ボルト止めします。左右共、上下3ヵ所を止めます。【鼻隠しの取付図①】
②**鼻隠し後**も同様に取付けます。左右共、側下2ヶ所止めます。
【鼻隠しの取付図②】
③**屋根止結金具**を使って**鼻隠し後**を**屋根板**に固定します。
【鼻隠しの取付図③】



【鼻隠しの取付図③】　【鼻隠しの取付図②】　【鼻隠しの取付図①】

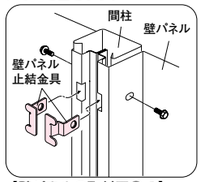
12 袖壁・壁パネルの取付け

①室内から**壁パネル**（Ⓐ壁・Ⓕ壁の**2種類があります**）をはめ込みます。下を先に入れて、上をはめ込みます。
【壁パネルの取付図①-1】壁パネルの配置は【壁パネルの取付図①-2】参照。（切欠きの大きい方が下です）
②上下中央の3ヶ所を**壁パネル止結金具**で止めます。柱前と固定する側面の箇所は壁パネル止結金具は使いません。
柱後部と袖壁を固定する箇所は壁パネル止結金具で固定します。
【壁パネルの取付図②-1】【壁パネルの取付図②-2】【壁パネルの取付図②-3】【壁パネルの取付図②-4】
③**袖壁**は壁パネルと同様に取付けます。 **注意** 袖壁は切欠きの大きい方が上です。（壁パネルと上下逆）
【壁パネルの取付図①-2】参照。
④**柱前AS-左**（右側開口は柱前AS-右）に柱補強金具を取付けます。上下の孔はボルト・ナットで孔を塞ぎます。
【壁パネルの取付図④】

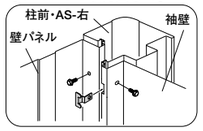


【壁パネルの取付図①-1】

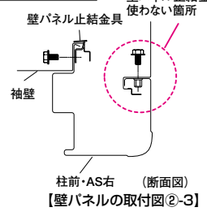
壁パネルの取付詳細図



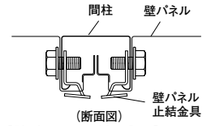
【壁パネルの取付図②-1】



【壁パネルの取付図②-2】

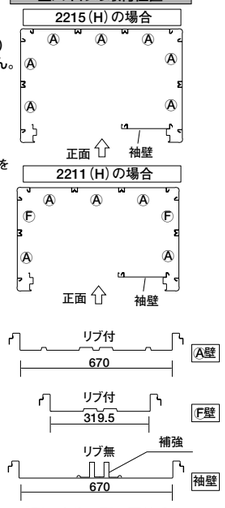


【壁パネルの取付図②-3】

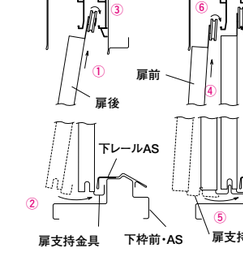


【壁パネルの取付図②-4】

壁パネルの取付位置



【壁パネルの取付図①-2】

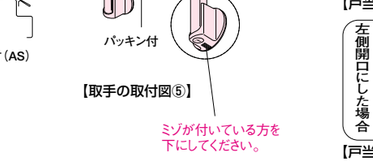


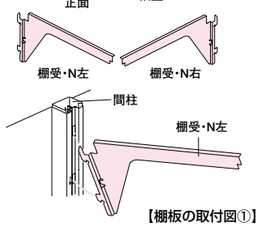
【壁パネルの取付図④】

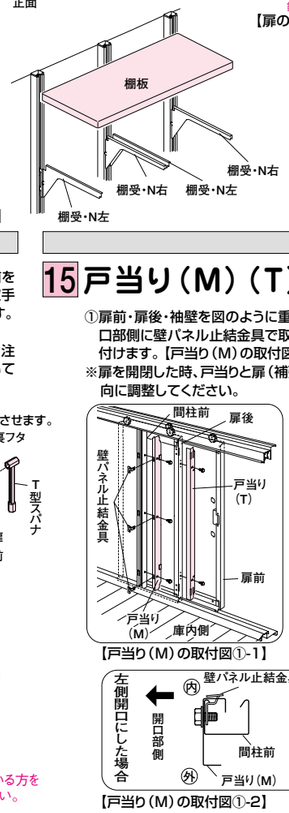
13 棚板の取付け

棚板1枚当り、棚受を4枚使用します。
（標準でA2.0の棚板が2枚付いています。）
①棚板に向かって右端に**棚受・N右**、左端に**棚受・N左**を使用します。
【棚板の取付図①】
棚板の中央部に棚受・N右、棚受・N左を使用します。

棚板が取り付けられる位置





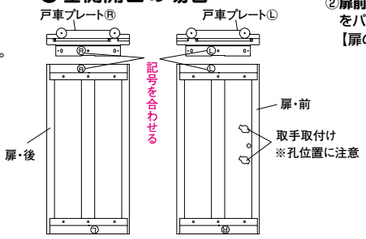


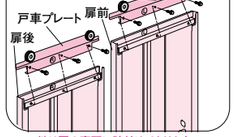
【棚板の取付図①】

14 扉の取付け

（工場出荷時は左側開口となっています。）
①戸車プレートを**扉・前、扉・後**に取付けます。
【扉の取付図①-1】
※戸車プレートには、ⓇⓁ区別があります。
右図の通り戸車プレートと扉の記号（ⓇⓁ）を合わせて、正しく取付けてください。

●左側開口の場合



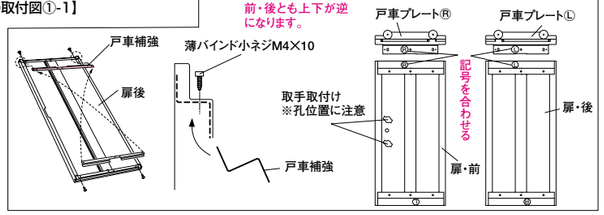


鍵は扉の裏面に貼付けてあります

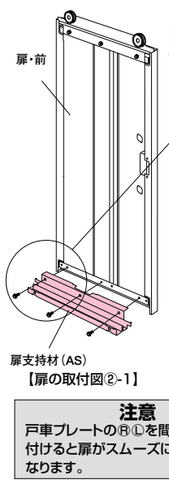
【扉の取付図①-1】

●右側開口にする場合

※右側開口にする場合は左側開口と扉前・後とも上下が逆になります。
※扉後に取付けてある戸車補強をはずし、上下反対方向に取付けます。



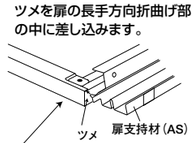
②**扉前の下側**に**扉支持材（AS）**をパネル下側に取付けます。
【扉の取付図②-1】



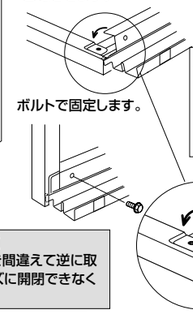
【扉の取付図②-1】

扉支持材（AS）の取付け方

ツメを扉の長手方向折曲げ部の中に差し込みます。



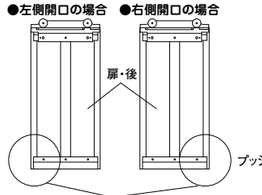
扉支持材を扉にかぶせる様に回転させます。

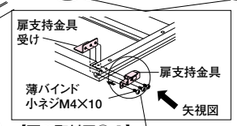


注意
戸車プレートのⓇⓁを間違えて逆に取付けると扉がスムーズに開閉できなくなります。

③**扉後**に**扉支持金具**を取付けた後（扉支持金具受けにボルト止めします）、**扉後隙間隠しAS**を取付けます。
（両面テープの裏紙を剥がして取付けてください。）
【扉の取付図③-1】【扉の取付図③-2】
※順番を逆にすると扉支持金具が取付けにくくなります。

●左側開口の場合　●右側開口の場合

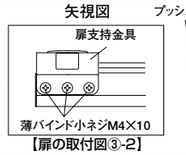




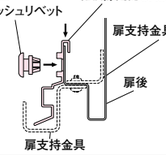
【扉の取付図③-1】

薄バインド小ネジM4×10

矢視図

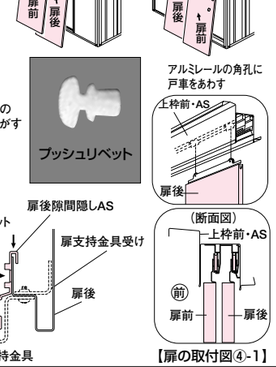


【扉の取付図③-2】



④**扉・後、扉・前**の順番で吊り込みます。
【扉の取付図④-1】

左側開口　右側開口



【扉の取付図④-1】

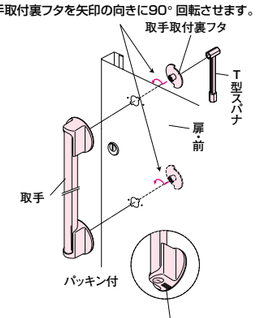
扉の吊り込み方

①戸車プレートをアルミ上レールに差し込みます。
②扉支持金具（扉前は扉支持材）を下レールAS（扉前は下レールASと扉後）に引っ掛けます。
③戸車をアルミ上レールに落とし込みます。
※扉前は下図の順番通りに吊り込んでください。

※扉を吊り込む際は下枠前ASの上面に砂埃が無いことを確認してください。

⑤取手を**扉・前**に取付けます。扉前を取手と取手取付裏フタで、挟み取手取付裏フタをT型スパナで回します。
【取手の取付図⑤】
※取手は上下があるので向きに注意してください。端にミゾがついている方を下に向けてください。

※取手取付裏フタを矢印の向きに90°回転させます。



【取手の取付図⑤】

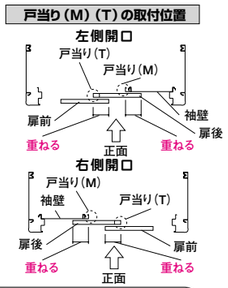
ミゾが付いている方を下にしてください。

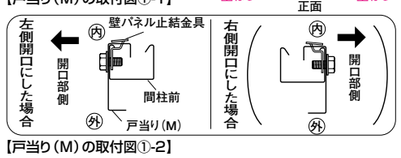
15 戸当り（M）（T）の取付け

①扉前・扉後・袖壁を図のように重ねた状態で間柱前に**戸当り（M）**を開口部側に壁パネル止結金具で取付け、扉後に**戸当り（T）**をボルトで取付けます。【戸当り（M）の取付図①-1】【戸当り（M）の取付図①-2】
※扉を開閉した時、戸当りと扉（補強）が当たる場合は、戸当りを前後方向に調整してください。

【戸当り（M）の取付図①-1】

戸当り（M）（T）の取付位置

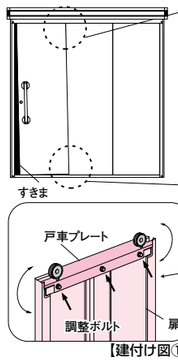




【戸当り（M）の取付図①-2】

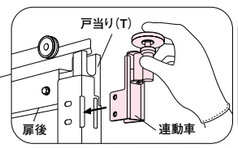
16 建付けの調整及び連動車の取付け

①扉を閉めた時図のように隙間ができるような場合や、隙間がなくても鍵のかかりにくい場合は、戸車プレートを固定しているボルト（**調整ボルト**）をゆるめ、（扉1枚につき3本）調整します（扉前・後）。【建付け図①】
※建付け調整で直らない場合は、基礎の水平、本体の立ちを直してください。

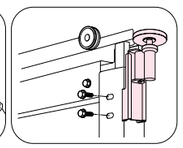


【建付け図①】

②**室内側**から**扉後**に**連動車**を図のように垂直に取付けます。
その際、車部分を押し下げると取付け易くなります。
【連動車の取付図②-1】【連動車の取付図②-2】



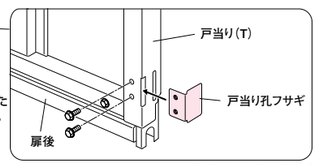
【連動車の取付図②-1】



【連動車の取付図②-2】

※連動車には、絶対に注油しないでください。扉が連動しなくなります。

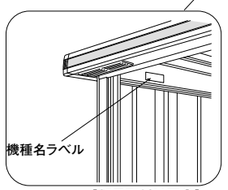
③**室内側**から**扉後下側**に**戸当り孔フサギ**を図のように取付けます。
【連動車取付図③】



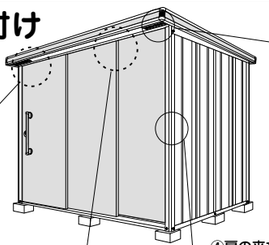
【連動車の取付図③】

17 その他の部品取付け

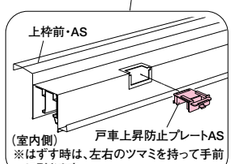
①取扱説明書に同封の対応する機種名ラベルを上枠左に貼ります。
【部品取付け図①】
※機種名ラベルは必ず貼付けてください。



【部品取付け図①】



②**上枠・前AS**に**戸車上昇防止プレートAS**を取付けます。（3カ所）
【部品取付け図②】
※戸車上昇防止プレートは必ず取付けてください。扉を開閉した時に扉がはずれる原因になります。又扉を外すときは戸車上昇防止プレートASを必ず取り外してください。



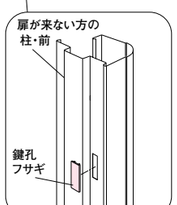
【部品取付け図②-1】

③換気栓（左右共通）をはめ込みます。【部品取付け図③】

【部品取付け図③】

※換気栓には前後があります。製品の内側にある刻印で確認してください。

④扉の来ない方の柱前に鍵孔フサギを取付けます。
【部品取付け図④】



【部品取付け図④】

この組立説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています

お客様へ
組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。

施工業者の方へ
取扱説明書は大切な書類です。本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

（2211（H）・2215（H））

ヨドコウ
淀川製鋼

（2007.1月制作）